事業完了後の事後評価に向けた
モニタリング・フォローアップについて（経過報告）

（1）モニタリング実施概要
（2）R5年度（途中）までの実施結果（個別）
（3）5年間のモニタリング結果のとりまとめイメージ

モニタリング実施概要

H21年度から実施してきた盛岡地区かわまちづくりについて、事業完了後の事後評価のため、R3年度よりモニタリングを実施している。

■. モニタリングの目的

・かわまちづくりの目的に対する効果発現状況を把握
　└賑わいの創出、観光の推進、地域活性化（本懇談会の規約より）
・北上川総合水系環境整備事業事後評価に向けた資料収集

■. これまでの経緯と今後の予定

年度	スケジュール
R2 年度	・モニタリング計画を作成
R3 年度	・モニタリング計画について、第 15 回懇談会（R3.7）にて意見交換 ・モニタリング調査（1 年目） ・2 年目に向け、修正モニタリング計画を作成
R4 年度	・モニタリング調査（2 年目）
R5 年度	・モニタリング調査（3 年目） ・本日の第 17 回懇談会（R5.12）にて、これまでのモニタリング経過を報告 ・モニタリング結果の中間とりまとめ
R6 年度	・モニタリング調査（4 年目）
R7 年度	・モニタリング調査（5 年目） ・事業事後評価

赤枠：今回中間報告項目

■.モニタリング計画と令和5年度調査内容

観点	No.	調査の枠組み	調査手法	指標	調査主体	調査詳細（調査時期・頻度または回数）	調査により把握するかわまちづくりの取組み：ハード：周遊・遊歩道・階段・サイン	景観・石積	親水・船着場・スロープ	ソフト：サケ	イベント	活動団体	R5年度実施項目
日常利用	1	かわまちモニタリング調査	現地調査（水辺の国調）	利用者数 利用形態	河川管理者	水辺の利用を的確に把握するための実地調査として、河川水辺の国勢調査（利用実態調査）に準じた現地調査を行う （事後評価前年度、春夏秋冬（年7回）※1）	◎	○	○				●（調査実施）
	2		webアンケート	市民の認知度 利用者意向	河川管理者	利用者の意向等を広く定性的に調査するためwebアンケートを実施する。その際、過年度結果との比較を行えるよう留意する （任意・年1回）	○	○	○	○	◎		●（調査実施）
	3		SNSパトロール	口コミ数	河川管理者	整備地区へのイメージ等を広く収集するため、北上川・中津川や沿川の施設に関するweb上の評価や口コミ等を収集する （適宜・年4回）	○	○	○	○	○	○	●（調査実施）
	4	河川巡視	カウント調査	利用者数	河川管理者	日常的な利用者の数を把握する （河川巡視に準ずる・概ね隔週）	◎						●（収集データの整理）
	5		写真撮影	利用状況 雑草被覆状況 河道内の状況	河川管理者	日常的な利用状況を把握する 雑草被覆および河道内の大型樹木や岩、堆砂で河川の利活用が阻害されていないか確認する （河川巡視に準ずる・概ね隔週）	◎	◎					●（収集データの整理）
イベント利用（非日常）	6	イベント等による河川の占用調整（管理）	占用申請書類	イベント実施主体 イベント数 参加者数	河川管理者	イベントによるにぎわいの創出状況を把握する 新規イベントの立ち上がりがないか確認する （随時）	○	○	○		◎	○	●（収集データの整理）
	7	舟運	舟運実験報告書	実施回数 利用者数	盛岡市（公）	船着場の利活用状況を把握する （年間予定終了後※２・年1回）			◎		◎	○	●（収集データの整理）
	8	サケを活かしたまちおこし	サケのぼり	設置数	河川管理者	サケのぼりの活用状況を把握する （設置後※２・年1回）				◎			●（収集データの整理）
	9		サケ冊子	配布数	河川管理者 盛岡市（観）	サケ冊子の活用状況を把握する （配布後※２・年１回）				◎			●（収集データの整理）
	10			活用状況	河川管理者	冊子配布先を対象に活用状況についてアンケート調査を実施する （実施後※２・2-3年に１回）				◎			●（調査実施）
参考データ	11	市　統計調査	観光統計	観光入込客数	盛岡市（観）	かわまちづくりの間接的な効果として、観光入込客数の推移を確認する （2月頃・年1回）	○	○	○	○	○	○	●（収集データの整理）
	12	市　施設管理	もりおか町家物語館の運営	利用者数	盛岡市（観）	かわまちづくりの間接的な効果として、施設利用者数の推移を確認する （2月頃・年1回）	○	○	○				●（収集データの整理）
	13		御蔵の運営	利用者数	盛岡市（観）	かわまちづくりの間接的な効果として、施設利用者数の推移を確認する （2月頃・年1回）	○	○	○				●（収集データの整理）
	14	市　Park-PFI	木伏緑地の運営	利用者数	盛岡市（公）	かわまちづくり（北上川）の拠点施設である木伏緑地の利用者数推移を確認する （調査（例年10月末-11月初）終了後・年1回）			○				●（収集データの整理）
	15			イベント数 参加者数	盛岡市（公）	イベントによるにぎわいの創出状況を把握する 河川区域を活用したメニューは特に詳細に取りまとめる （イベント終了後※２・年1回）			○		◎	○	●（収集データの整理）

※１　調査実施日は以下の河川水辺の国勢調査マニュアルに準ずる

※２　おおよそ冬頃を予定。

実施結果（経過）

モニタリング項目は、年末までのデータを年度末にとりまとめる項目が多いため、現時点で今年度実施（経過含む）した以下の項目について報告する。

■．利用実態調査（No.1）

水辺の国勢調査【利用実態調査】に準じた現地調査

なお、
・今年度は、春季、夏季、秋季、冬季の7回（日）に実施予定
・現時点では、春季、夏季、秋季を実施済み、年明けの１月に冬季調査を実施予定

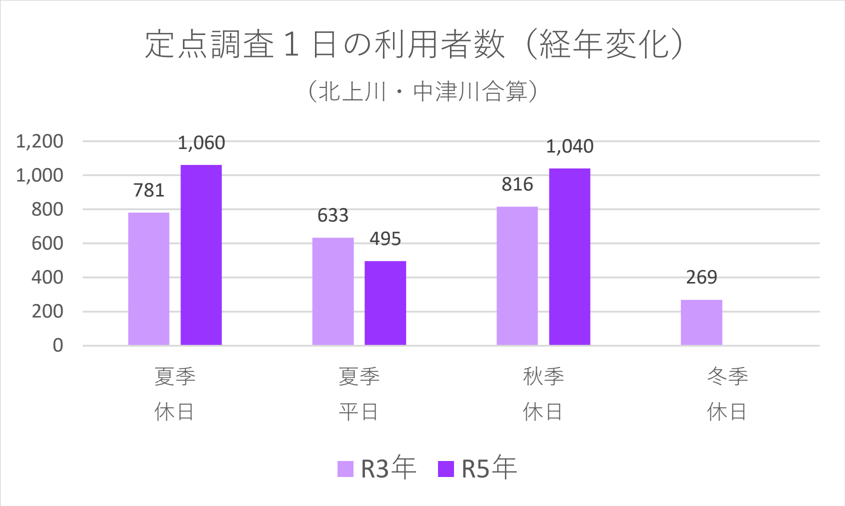
■．SNSパトロール（No.3）

SNSの投稿およびリアクション数、口コミ数・内容などを調査

No. 1　水辺の国勢調査【利用実態調査】に準じた現地調査

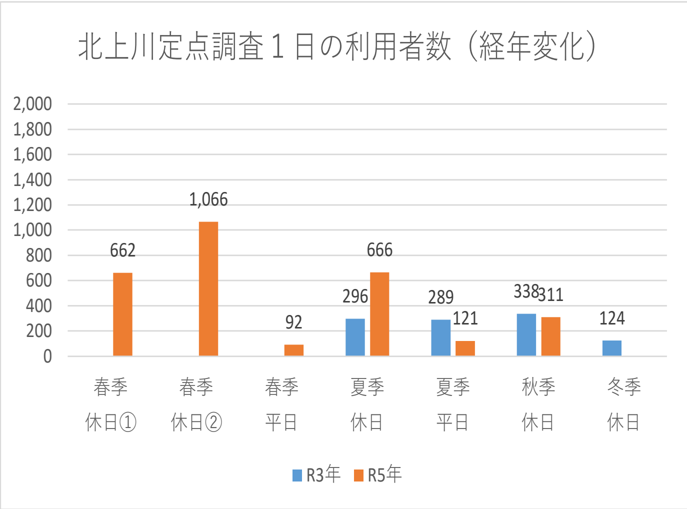
モニタリング指標		利用者数、利用状況写真
調査手法		水辺の国勢調査【利用実態調査】に準じた現地調査
調査・事業の枠組み		かわまちモニタリング調査
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		4/29(土・祝)、5/5(金・祝)、15(月)、7/30(日)、31(月)、11/3(金・祝)、1/8(月・祝)・年7回
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	―

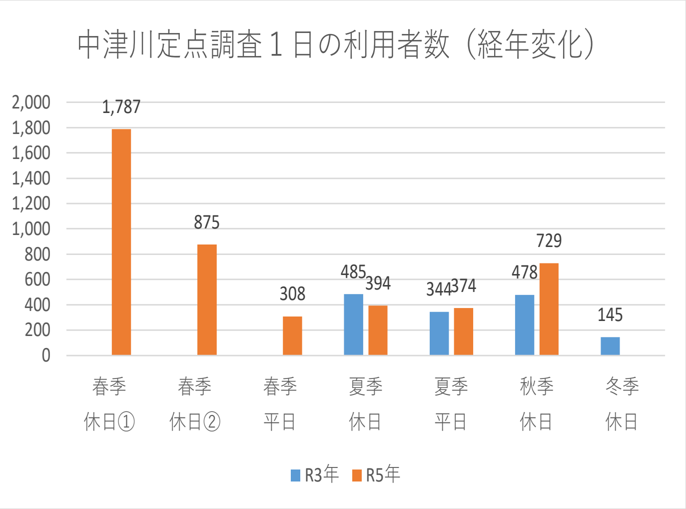
《定点調査の枠組み》
- 2時間ごとに利用者数をカウントし、足し合わせて1日の利用者数とする（北上川：不来方橋～夕顔瀬橋、中津川：毘沙門橋～富士見橋）



《1日の利用者数（経年変化）》※R5冬季未実施
・令和5年度の利用者数は令和3年度と比較して、夏季休日、秋季休日は増加、夏季平日は減少している。

・北上川、中津川の利用者数を比較すると、全体的に中津川の方が多い傾向にある。

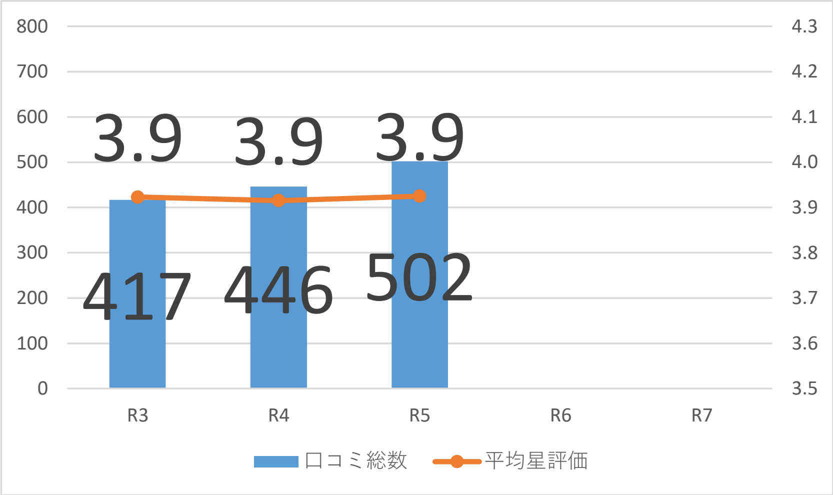




No. 3　SNSパトロール

モニタリング指標		SNSの投稿およびリアクション数、口コミ数・内容など
調査手法		web検索
調査・事業の枠組み		かわまちモニタリング調査
調査主体		河川管理者
調査時期・頻度または回数		任意・年４回
かわまちの取り組み	ハード	周遊（遊歩道、階段、サイン）、景観（石積）、親水（船着場、スロープ）
	ソフト	サケ、イベント、活動団体

《Googleマップのクチコミ》



- かわまちづくり対象区間の橋梁（人道橋含む）の口コミ総数、平均星評価共に伸びており、堅調に推移している。
- 口コミから自動でピックアップされるキーワード（右図の赤枠）は、事業や取り組みに関連したものが多く挙がっている

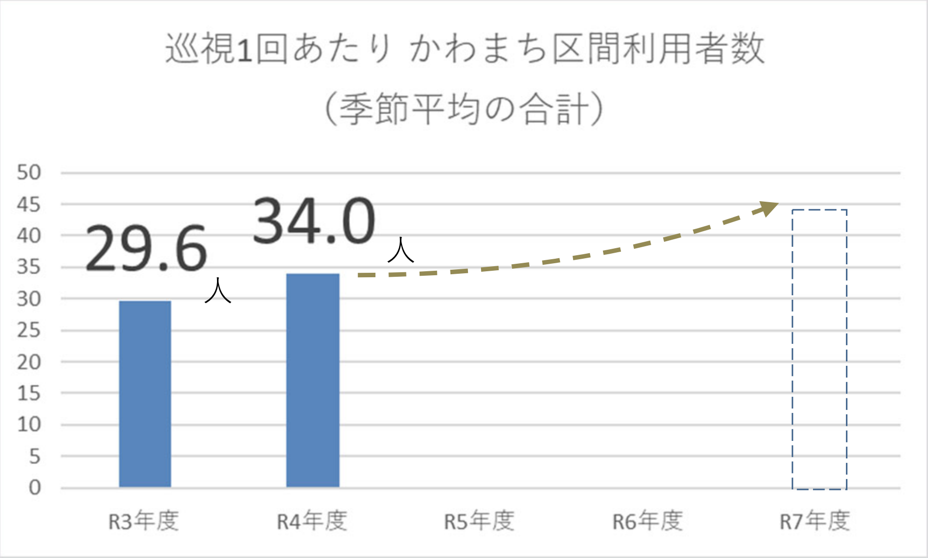
（出典：Googleマップ）

収集する口コミ例

事業完了後の事後評価に向けたとりまとめイメージと指標（案）

指標（案）

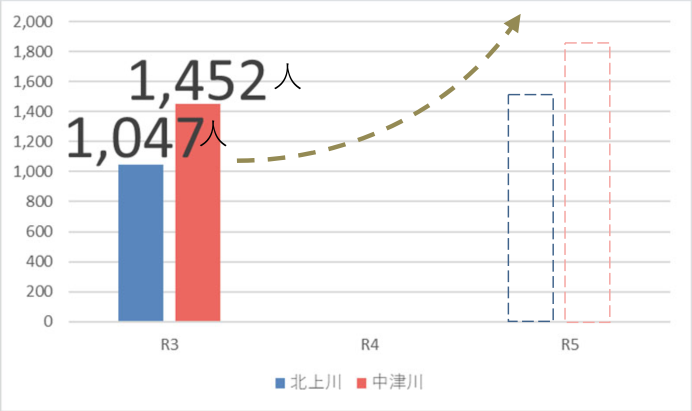
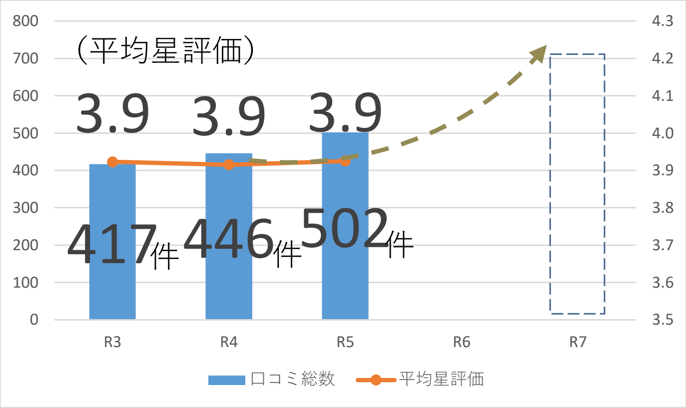
メイン指標



日常の利用者数（調査1回あたり）
（No.4 河川巡視時の利用者数カウント調査）

サブ指標

日常の利用者数（現地調査時総数）
（No.1 水辺の国勢調査に準じた調査）



かわまち区間の沿川施設等のGoogleマップの評価・クチコミ数の伸び
（No.3 SNSパトロール）